

平成31年度（令和元年度）北九州市立城南中学校 学校経営方針

校訓
自立
勤勉
礼儀

学校教育目標

生徒一人一人の個性や能力の伸長を図り、
徳・知・体の調和のとれた心豊かな人間の育成に努める

(国・市の動向)
・現行、改訂学習指導要領
・「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」
・北九州スタンダード「指導の重点」
・学力体力向上アクションプラン

基本方針

○人間尊重の精神を基盤としながら生徒と正面から向き合い、教師一人一人が教育者としての使命感に燃え、専門性や特技、持ち味等を生かしながら共通理解のもと、創造的な教育活動を推進する。
○基本的な生活習慣の確立、社会に適應できる規範意識の育成、基礎学力の定着を目指す。
○全教職員の共通理解のもと、学校が組織体として機能することを第一として、人間性豊かで行動力のある教師・活力のある生徒・清潔で整った教育環境等の醸成に努める。
○生徒・教師・保護者が信頼で結ばれ、地域や関係機関との連携を大切にしながら、開かれた特色ある学校づくりに努める。

めざす生徒像

「礼儀正しく、自然体であいさつができる生徒、自他への思いやりを大切にする生徒」

- ・社会の一員としての自覚と責任をもち、望ましい人間関係を確立しようとする生徒
- ・自ら学び、自ら考え、自分の目標に向かって努力する生徒
- ・きまりを守り、善悪を正しく判断し、責任をもって行動することができる生徒
- ・思いやりの心をもち、相手の立場に立って考え、場に応じた優しい言葉かけや行動がとれる生徒
- ・感謝の心をもち、清掃活動や奉仕活動に積極的に取り組む生徒

めざす教師像

「使命感にあふれ、子どもへの教育愛に満ちた教師」

- ・優しさと厳しさを兼ね備え、優れた指導力を持つ教師
- ・愛情ある指導で、生徒・保護者・地域から信頼される教師
- ・「教えるプロ」として専門性を高め、幅広い教養と識見を身につけるため、自主的・主体的に研修に努める教師
- ・常に危機管理意識をもち、誠意ある対応と迅速な行動がとれる教師
- ・問題を一人で抱え込まず、仲間と協力しながら物事の処理に当たる教師（チーム城南）

重点目標および具体的な方策

基礎的・基本的な内容の確実な定着を目指し、確かな学力を育成する「学習指導」の推進

- 学力向上部会担当職員で確かな学力を育成、定着させるための施策について企画・推進するための方法を確立する。
- 学習習慣及び基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。
 - ・ 自主学習ノートを活用し、家庭における学習習慣を定着させる。
 - ・ 補充学習を定期的に実施することにより、基礎的・基本的な学力を定着させる。
 - ・ 読書活動を積極的に推進する（朝読書の定期的な実施等）。
 - ・ 学力向上推進リーダーと連携し、授業や補充学習を充実させる。
- 教材研究はもとより、指導内容・指導方法を工夫改善し、生徒の学習意欲を高めるための「わかる授業」を実践する。
 - ・ 「「わかる授業」づくりの5つのポイント」を確実にとらえ、盛り込んだ授業を推進する。（「めあて」、「思考」、「話し合い」、「振り返り」等の提示と時間設定）
 - ・ 教員が互いの授業を見合い、意見交流する習慣を定着させる。
 - ・ 様々な課題に取り組みせ「やればできる」という感覚を味わわせるとともに、成果を発表させ適切に評価することにより生徒の自尊感情を高める

将来の夢や展望を抱き、自己実現をめざす「生徒指導」と「進路指導」の推進

- ・ 生徒の安全・健康に対する意識を向上させるとともに、安全指導を充実させ、危機管理体制の充実を図り、生徒の健康管理及び学校管理下での事件・事故等の防止に努める。
- ・ 積極的な生徒指導を柱として、全教職員の共通理解のもと、専任生徒指導主事を中心とした校内での指導体制を確立し、組織的かつ迅速な対応に努める。また、教師と生徒、生徒相互の好ましい人間関係づくりに努める。
- ※「**鮮度が命**」その日にあったことはその日に処理するを原則とする。
- ※「**割れ窓理論**（Broken Window Theory）」「破損箇所は速やかに修理する」を原則とする。
- ・ いじめや不登校の問題、その他問題行動等の早期発見・早期解決のために、教育相談活動を充実させ、家庭・地域・関係機関との適切な連携を図る。また、生徒の健全育成を目指し、薬物乱用防止、性に関する指導等の充実を図る。
- ・ 虐待の対応については、定期的な生活アンケートを通じた情報収集、報告・連絡・相談、関係機関との連携を確実にを行う。

心の教育の充実をめざす「道徳教育」と「人権教育」の推進

- ・ すべての教育活動を通して道徳教育の充実を図り、道徳的価値を深め道徳実践力を育てる
- ・ 特別の教科「道徳」について確実な実施と適切な評価について心の教育部会で計画し、全教職員で取り組む。
- ・ 人権意識を高揚させ、確かな人権感覚を身につけさせる人権教育を実践する。
- ・ いじめや差別を見逃さず、自他を大切にする人権意識の育成と教育相談の充実を図る。
- ※ <いじめ>については「人間尊重として絶対に許されない（ゼロトレランス）」という認識に立ち、人権確保にむけ学校をあげて即日対応に取り組む。
- ・ SDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえ、自他ともに大切にしている心情や態度を育てる人権教育の推進に取り組む。

社会に適應できる規範意識を育てる「特別活動等」の推進

- ・ 学校行事や部活動等を通して、生徒一人一人の個性の伸長を図る。
- ・ 自らの生き方を考え、主体的に進路を選択し、自己実現を図る能力や態度を育成する。
- ・ 自然体験、社会体験、ボランティア活動等を通して、幅広い見識や豊かな心を培う。

体力の向上と健康で安全な生活を送るための健康教育の推進

- ・ 生徒の実態を分析し、それに適した一校一取組の実施に努める。（小中連携及び中高連携の取組みの一環として）
- ・ 健康や安全に対する意識を図り、事故等の防止に努めようとする態度を養う。
- ・ 食育を通して、心身ともに健やかな発達を図る。

生徒一人一人の教育的ニーズに応じた「特別支援教育」の推進

- ・ さまざまな心身の障害を理解し、個に応じた適切な指導及び必要な支援を行う。
- ・ 一人一人の特性に応じた指導を推進するため、特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制を確立し、個別の指導計画に基づいた指導の充実を図る。

保護者・地域に信頼される「特色ある学校づくり」の推進

- ・ 広報活動を充実させ、学校のよさを広く知らせる。
- ・ 施設・設備の充実を図り、美化活動の推進に努める。（花いっぱい運動、地域清掃活動）
- ・ 職員相互のよりよい関係を構築し、明るく元氣な職場環境の醸成を図る。（チーム城南）
- ・ 小中一貫・連携教育のさらなる充実を図る。（花いっぱい運動、三校合同授業公開及び研修会、体力向上の取組）

日常の構え

- 1) 当たり前のことが当たり前でできる生徒の育成を目指す。
 - 是は是、非は非（看過・体罰に頼らない） ○ 聞く、聞かないは別として、最低でも声をかける（様々な角度から）
 - 指導時は、できるだけ多くの職員集団であたる（特に緊急時、単独はトラブルのもと）
 - 「やるときにはやる、やればできる」城南魂の推進（自覚と誇りの醸成）
 - 2) 学校が心の居場所となり、生徒が安心して学習できるような環境づくりを推進する。
 - 3) 教育公務員としての職務・身分上の義務の厳守を心がける。
 - 4) TPOに応じた服装や言動に心がける。
- ※ 授業規律の確立 → 学力の向上 規則の順守 → 生活習慣の確立 共通理解 → 秩序の維持 無理をせず、あせらず、根気よく・・・